

## 会報

2024年2月号



第3回高尾山ハイキング 山頂にて

## ◆ 2月委員会

期日：2月25日(日) PM 1:30~2:45

於：赤城生涯学習館

議題：会務、100周年記念誌、その他

## ◆ 2月集会

期日：2月25日(日) PM 3:00~4:45

於：同上

議題：委員会での議事内容の報告、  
山行計画、山行報告、その他

## ◆ 3月委員会、集会

3月31日(日)開催予定

## &lt;今後の山行計画&gt;

2月11日(日) 丹沢・大山 L 後藤

集合：秦野駅北口④番乗り場 8:45am

2月17日(土) 曾我丘陵~曾我梅林 L 薄

集合：東海道本線「国府津駅」改札口 9:30am

2月22日(木) 鎌倉・布張山 L 穴戸

集合：JR 湘南新宿ライン 逗子駅 10:00am

3月3日(日) 富士吉田・新倉山 L

集合：富士急行線下吉田駅改札口 9:40am

3月14日(木) 高尾山4回目 L 穴戸

集合：JR高尾駅 10:00am

3月17日(日) 菜の花と野菊の墓文学碑 L 田村

集合：北総線、矢切駅 10:00am

3月23日(土) 高島平二輪草鑑賞 L 小國

集合：都営地下鉄三田線高島平駅改札 10:00am

3月26日(火) 竜ヶ岳 L 後藤

集合：河口湖駅改札口 8:55am

3月30日(土) 草戸山~城山カタクリの里 L 薄

集合：京王線「高尾山口駅」前 9:30am

\*各計画の詳細は新HP (Wix)の山行計画及び日程  
調整アプリ「調整さん」を参照下さい。\*上記を利用出来ない会員で各ハイキングへの  
参加希望者は山行計画実施1週間前までに以下の  
グループメールアドレスに申し込んで下さい。[tokyo.arukokai@gmail.com](mailto:tokyo.arukokai@gmail.com)

山行報告 山行回数 No. 5843

○ 2024年1月7日(日) 晴れ

浅草名所七福神巡り

= 係 久住 =

参加者：L久住(謙)、田村(正)、吉田(博)、

吉田(純)、椎名(宏)、椎名(正)、窪田、阪野、  
大桃(利)、大桃(君)、白石、武田、大井川、  
友田(考)、友田(洋)、久住(三) 合計16名

【集合】 浅草浅草寺横交番前 10:00

【行程】 10:00雷門前→浅草寺/影向堂(大黒天)→  
浅草神社(恵比寿)→矢先稲荷神社(福祿寿)→鷺神  
社(寿老人)→吉原神社(弁財天)→(近くの公園に

て昼食) →石浜神社(寿老人) →橋場不動尊(布袋尊) →今戸神社(福祿寿) →待乳山聖天(毘沙門天)  
合計時間 約時4時間 距離 約7km

## 【報告】

雷門から浅草寺本堂までは参拝客、外国からの観光客で混雑していたので仲見世通り横の道を進んだ。大黒天の浅草寺/影向堂にて窪田さんが色紙を購入、御朱印を頂いた。次は影向堂から本堂の先の三社祭り知られる恵比寿の祀られている浅草神社を拝観した。残念ながら恵比寿像は扉が閉まっています拝むことが出来なかった。1月7日ぐらいまでは開帳して欲しかった。この後巡った幾つかの神社、不動尊で七福神を直接拝むことが出来なかったのは残念であった。

次の福祿寿の矢先稲荷神社は河童橋商店街の近くにあった。その次は酉の市で混み合う寿老人の鷲神社を参拝したが七草粥が振舞われていたせいか大混雑であった。境内では正月気分を盛り上げる獅子舞に人々が集まっていた。ここは手抜きをして少し遠くから拝むことで時間短縮した。

そこからほど近い弁財天の吉原神社を訪れた。通りに吉原遊郭街の名残の「見返り柳」の碑を見つけた。今回は参加者が多く、レストランでの昼食は難しかったので各自持参した弁当を近くの公園で食べた。ひなたは暖かく、参加者間でゆっくり歓談出来た。

更に隅田川に向かい、白髭橋先の石浜神社を訪れた。ここは大きな寿老人の神社で、富士山の溶岩を重ねた「富士山遙拝所」が祀ってあった。

次の布袋尊の橋場不動尊は小さな訪れる人も少ないひっそりとした不動尊。

その先の福祿寿の今戸神社は大小の招き猫が幾つも飾られ、縁結びの神社ののぼり旗が設置されている宣伝効果のせいか？若者カップルが参拝の長蛇の列を作っていた。

最後は毘沙門天の待乳山聖天をお参りした。ここでは大根が奉納され、お祓いを受けた大根を頂いた。(記 久住)



## 山行報告 山行回数 No. 5844

○ 2024年1月14日(日) 晴れ

ひすれ  
日連アルプス

= 係 薄 =

参加者：薄(L)、久住、白石、吉田、小國、  
武田、大井川、宮澤、大桃、杉谷(合計10名)【行程】中央本線・藤野駅10:30→11:05金剛山  
登山口→11:50金剛山(昼食)12:30→12:40峰山  
→13:05杉峠→13:25日連山→13:45宝山→14:40  
日連登山口→15:35藤野駅

【歩行時間】約3時間

【報告】「日連アルプス」は最近一般に知られるようになった山で、昨年都岳連主催のハイキングでも実施されたことから今回計画してみた。

藤野駅からしばらく車道を歩き、日連大橋を渡ってから赤い鳥居のある金剛山登山口に到着。山道に入ってから意外と急登が続く。いくつかのピークの内最初の金剛山に着くとベンチが二つあったのでここで昼食にした。

昼食後出発してから10分ほどで、今日の最高地点の峰山(423m)に着く。展望がよく、生藤山、権現山、倉岳山などの山並みが見えた。稜線歩きなので上り下りをくり返しながらい連山、宝山などを通過すると、ロープが張られた急坂が出てきた。慎重に下った後は平坦な道が続き日連登山口に出て、後は車道を藤野駅まで戻った。

(記 薄)



山行報告 山行回数 No. 5845

○ 2024年1月20日(土) 曇り、時々雨  
安孫子～手賀沼散策

＝ 係 成田 ＝

参加者：L成田、薄、窪田、田村(正)、吉田、

小國、久住(謙)、友田、杉谷、三浦(良)、  
穴戸、白石、武田、田村(め)、三浦(理)、久住(三)  
合計16名

午前10時我孫子駅集合、当日は折しも大寒の初日。最高気温が10度にも満たないどんよりとした曇り日。

天気予報では午後から雨になるとの不安を抱えながらのスタート。早速、駅前には武者小路実篤32歳の誕生日に武者小路邸の庭で撮ったという白樺文学者たちの写真のプレートがあり、我孫子が白樺派や民芸運動に関連した街であるとの印象を強くする。そのような著名人が我孫子に住むきっかけを造ったとも言える常磐線に我孫子駅を誘致した飯泉喜雄氏の顕彰碑がその近くにあった。

鉄道がとおり、東京にも近い我孫子は、柔道の創始者の嘉納治五郎が別荘を構えたのをきっかけに民芸運動家の柳宗悦、志賀直哉、武者小路実篤らが次々に移住し、ジャーナリストの杉村楚人冠はアサヒグラフで「手賀沼を見下ろす風光明媚な地」として我孫子を紹介した。彼の住まいは大正ロマンを感じさせる建物として市の文化財に指定されて観光地の役割を担っている。

その手賀沼には柳と民芸運動に関わったバーナード・リーチの西洋と東洋の融合を夢見た碑や、日本の歯科医学の開拓者の血脇守之助の大きな碑もあり、我孫子という街の特異性を感じさせる。

かつて江戸時代には水戸と江戸を繋ぐ宿場町だったことや、明治天皇の行在所にもなった角松旅館が現代的なビルを背景にアンバランスな対象を見せていて、かつてあった我孫子宿の本陣が今は跡地を示す標柱に化してしまったように、いつか消えてしまうのではと寂しく思われた。

ただ幸いにもその本陣の離れが移築され、村川別荘として市の指定文化財の認定を受け無料開放されている。市民ボランティアのガイドも行われていて、私たちが案内を受けることができた。

あちこちあわただしく見学するうちに小雨が降りだし12時30分を過ぎ、次の目的地「ベルサイユのばら」で有名になった池田利代子さんデザインの「水の館」の見学を、我々の腹時計が拒否し、道の駅のレストランへと向かわせた。

いくつかレストランがあったのでそれぞれの好みに合わせ昼食を楽しむ。食事のあとは道の駅でのショッピング。そしてゆったりとした手賀沼遊歩道を柏方向にのんびりとウォーキング。

途中、国土交通省が管理する北千葉導水路の施設を訪れ、日本一汚れていた手賀沼がワースト1から脱却した理由をビデオを見ながら学んだ。

当初解散場所を北柏駅と予定していたが、常磐線や千代田線も止まる柏駅に変更し、4時ごろ柏駅で解散した。(記 成田)



山行報告 山行回数 No. 5846

○ 2024年1月24日(水) 晴れ

高尾山3回目琵琶滝コース

= 係 穴戸 =

参加者：L 穴戸、SL 薄、武田、田村(め)、宮澤、  
小國、松井(恵)、大井川、大桃(利)、  
大桃(君)、久住、三浦(良)、成田、吉田、  
田村(正) 合計15名

行程：

【集合】 京王線 高尾山口駅 10:15 am

【記録】 10:25高尾山口駅 → 10:30 清滝駅 →  
11:00琵琶滝 → 12:00 高尾山頂(休憩60分)13:00  
→ 14:30 リフト山上駅 → 14:40 金毘羅台園地  
→ 15:30 高尾山口駅到着

合計時間 約時5時間(休憩 1時間45分) 距離  
9.6kmのぼり678m/くだり672m(累積)

【報告】

晴れて寒い朝でしたが、歩き始めると身体が温まるという冬のハイキングでした。琵琶滝コースは初めてという参加者が多く、冬枯れのコースを楽しみました。休憩をとると寒風を感じ、お昼過ぎは遠くに暗い色の雲も見えて来ました。帰路は表参道を蛇行して下るコースでした。平日で観光時期もずれていたため観光客が少なく、15名という大人数でも無事終了できました。

(記 穴戸)



東京アルコウ会

代表 田村 正博 TEL 080-5430-6532  
〒270-2241 松戸市松戸新田500-8-608

事務所 久住宅 TEL 090-4398-3037  
〒162-0051 新宿区西早稲田2-1-23-806  
E-mail : tokyo.arukoukai@gmail.com